

## 現在の研究所と会員への情報提供・研究者の支援事業

□ 「平成二八年出版助成事業に係る選考委員会」の開催

(七月十二日)

(1) 若手研究者の育成支援事業として、慎重な検討を経て助成が承認されました。

(2) 対象出版書籍

- ① 書籍名 (仮)北海道から農協改革を問う
- ② 申請者 小林国之准教授 (北海道大学大学院農学研究院) 他六名
- ③ 出版期日 平成二八年一〇月
- ④ 選考委員会の選考理由

本書の目的は北海道の農業・農村の現場から農協のあり方として、「食・農・地域を支える社会経済システムとして」「機能している農協」という姿を提言することである。五年後の准組合員の事業利用規制の是非の議論



を念頭に、農業所得の向上や地域の活性化に向けた農協事業の現状と展望を整理・提言している。北海道は主業農家を主体に大規模で多様な農業を展開しているが、積雪寒冷地のため冷害と過疎との戦いを余儀なくされてきた。こうした北海道農業・農村の特徴を踏まえた農協活動の道筋を示そうとした点を評価し、また、中堅・若手クラスの執筆者の今後の研究活動に期待して出版助成の対象とするよう推薦した。

(3) 尚、平成二六年度の出版助成対象書籍が、日本農業市場学会の学術賞と農業問題研究学会の学術賞にそれぞれ選定されましたので改めて紹介します。

① 「バイオマス静脈流通論 (筑波書房：二、八〇〇円＋税)」  
著者 泉谷眞実教授 (弘前大学)

② 「農村構造と大規模水田作経営―北海道水田作の動き―」  
(筑波書房：四、〇〇〇円＋税)

著者 細山隆夫主席研究員 (北海道農研センター)

↓事業計画説明会



→ 研究班講演会



□「平成二八年度事業計画説明会」の開催

(七月一九日)

- (1) 北農五連幹部職員を対象に、説明会を開催し取組状況を報告しました。
- (2) 説明会終了後、講演会を行いました。

① 講師 清水池義治氏(北海道大学大学院農学研究院講師)

② 演題 「生乳共販体制の役割にCSM」

③ この講演内容は、当該書籍の「特集」で三回に渡り連載しています。

□てん菜技術発表会

(七月二〇日)

- (1) 当研究所、鷹田秀一研究部次長が研究発表を行いました。
- (2) 研究テーマ 「テンサイ移植栽培における省力・低コスト化推進

のための栽植密度低減栽培と問題点」

□「担い手確保問題と集落機能」研究班講演会の開催

(八月五日)

- (1) 講師 蘇淳烈教授(韓国・全北大学校教授)
- (2) 演題 「韓国農村マウルにおける社会組織の変化」
- (3) この講演内容は、今号の「研究報告」に掲載しています。

□ホクレン一〇〇年史編纂支援業務研究班会議の開催

(八月一九日)

支援業務内容と執筆分担について、協議し確認しました。

□日韓シンポジウムへの参加

(八月二九日～九月一日)

- (1) 当研究所、申専任研究員が参加しました。
- (2) この内容は、今号の「研究所だより」に掲載しています。

□今後の予定

- (1) 第四回理事会の開催(期日は未定)
  - (2) 農業総合研修会の開催
- 地方都市での開催を検討しています(期日は未定)。